

日産婦医会発第 90 号
令和 3 年 6 月 28 日

都道府県産婦人科医会
会長 殿
医療安全担当理事 殿

公益社団法人日本産婦人科医会
医療安全部会担当
副会長 石渡 勇
常務理事 関沢 明彦

令和 3 年度母体救命法普及事業 コース開催支援について

謹啓

時下、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より地域の周産期医療活動に多大なご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年度から別紙の「母体救命法普及事業 コース開催支援」を行っております。これは、J-MELS コースやインストラクターの「質の担保」について議論があり、その対策として始めました。本事業は、地域での J-MELS コースの開催に際し、他地域から経験豊富なインストラクターの派遣を要請した場合に、インストラクターの交通費などを医会の医療安全部で負担するものです。

昨年度はコロナ禍の影響もあり、J-MELS コース自体の開催が難しい状況でしたが、J-CIMELS ではいち早く感染対策動画や注意点などを公開し、さらに with コロナの新しいかたちの講習会の開催を始めました。

本事業について別紙のとおりご案内申し上げます。地域で J-MELS コースの開催を計画される際の一助になれば幸いです。

今後とも母体救命法普及事業へのご支援をお願い申し上げます。

謹白

本案内送付先：

都道府県産婦人科医会会長および医療安全担当理事、J-MELS コースディレクター

令和3年度母体救命法普及事業 コース開催支援について

2021/6/28 医療安全部

はじめに

J-MELS コースが開催されるようになって6年目を迎えました。昨年は、コロナ感染症拡大防止の観点から多くのコースが中止・延期となりました。その間、J-CIMELS では with コロナ時代に則した講習会の検討を進め、ベーシックコースでは講義、テスト、アンケート等を Web で行うプログラムを開発し、運用を始めました。

本事業は、インストラクター不足で複数回の開催ができていない、周産期医療過疎地域のため開催が難しい、また、慣れによる講習会の質への不安、新コースや新シナリオへの挑戦に対する不安払拭などへの対応のために昨年度から始めました。加えて、今年は、久しぶりの開催への不安などについてもお力になれるようにと考えます。

各地域の活動を支援するため、令和3年度医療安全部の母体救命法普及事業では、コース開催支援のための予算を確保しています。限りある原資ですが、有効活用され、より母体救命システムが普及していくことを願っています。

支援要項

- ・ インストラクターの派遣費等（原則、交通費・旅費実費+日当のみ、講師謝礼は主催団体から支払）を母体救命法普及事業で準備する。
- ・ 支援申請理由に合致したインストラクターを J-MELS コース主催団体と日本産婦人科医会医療安全部とで相談し決定する。
- ・ 支援申請は都道府県産婦人科医会を通じて行う（主催団体は都道府県産婦人科医会でなくてもよい）。
- ・ 支援は、1 主催団体に付き年 1 回を限度とし、派遣インストラクターは原則 1～2 名とする。
- ・ J-MELS 対象コース
ベーシックコース、ベーシック・インストラクター（養成）コース、アドバンスコース、硬膜外鎮痛急変対応コース

支援申請方法

- ・ 日本産婦人科医会医療安全部あてにメールで申請する
- ・ 原則、申請締め切りはコース開催日の遅くとも 3 か月前とする
- ・ 申請記載内容
コース名、開催日・時間、受講者人数、主催団体、支援申請理由 等

問い合わせ先

公益社団法人日本産婦人科医会 医療安全部

令和3年度母体救命法普及事業コース開催支援申請書

日本産婦人科医会 医療安全部



提出先: jim@jaog.or.jp or 03-3269-4730

(Mail or FAX)

下記のとおり、支援を申請します。

| |
|--------|
| 申請者 |
| 産婦人科医会 |
| 会長名 |

| | | | |
|----------------------------|---|----|-----|
| コース名 (該当するコースに☑) | <input type="checkbox"/> ベーシックコース <input type="checkbox"/> ベーシックインストラクター（養成）コース <input type="checkbox"/> アドバンスコース <input type="checkbox"/> 硬膜外鎮痛急変対応コース <input type="checkbox"/> 他（ ） | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記コースは開催申請済である | | |
| 開催日 | 原則開催の3か月前までの申請 西暦 年 月 日 ~ 月 日 | | |
| 受講人数 | 人 | | |
| 主催団体 | 運営責任者 | | TEL |
| 運営責任者メールアドレス | | | |
| 申請理由 | 例：周産期過疎地域の為、開催が難しい。慣れによる講習会の質の不安、など | | |
| 希望する支援内容 | 例：インストラクターの派遣および派遣費の負担、など | | |
| 招致するインストラクター (確定している場合) | 氏名 | 所属 | |
| | 氏名 | 所属 | |
| 支援要項 | <ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターの派遣費（交通費・旅費実費+日当のみ、講師謝礼は主催団体から支払）を母体救命法普及事業で準備する。 ・支援申請理由に合致したインストラクターをJ-MELSコース主催団体と日本産婦人科医会医療安全部とで相談し、決定する。 ・支援申請は都道府県産婦人科医会を通じて行う（主催団体は都道府県産婦人科医会でなくてもよい） ・支援は1主催団体に付き年1回を限度とし、派遣インストラクターは原則1~2名とする。 | | |

以下は事務局で記入後、都道府県医会へ回答します。

| | | |
|---------|--|---------|
| 回答（ / ） | <input type="checkbox"/> 支援します <input type="checkbox"/> 条件付きで支援します <input type="checkbox"/> 支援不可 | 医療安全部確認 |
| 支援内容ほか | 支援金額 | |